

発行者：福岡市議会議員 小竹りか
〒815-0041
福岡市南区野間3丁目4-1 川上ビル102号室
TEL.092-559-8155
FAX.092-559-8156

福岡市議会議員〔南区〕

こ た け
小竹りか

HP



LINE



- 目次 1.新年のご挨拶 2.車椅子ユーザーの歩道整備 3.人と動物の共生社会 4.ご案内・告知

謹んで新春のお慶びを申し上げます

新しい年、いかがお過ごしでしょうか。今年は、市の目標や施策の方向性を示す「基本計画」が新たになる年です。『想いをカタチに。』この初心を忘れず、皆様の日常が彩りあるものとなるように、精一杯活動する所存です。ご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。みな様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

福岡市議会議員 小竹りか

令和6年度12月議会のご報告①

車椅子ユーザーの視点を活かした歩道整備について

車いすユーザーの方が歩道を走行する際、傾斜で車いすが傾いたり、根上がりで飛び出た縁石に車輪が乗り上げてしまう危険な箇所が身近に多く見受けられます。安全に快適に目的地にたどり着けるよう、市の歩道整備等について質しました。



Q 安全な歩道のあり方について考え方は？

A 重点整備地区を定め優先的にバリアフリー化を進めている。また、適切な維持管理を行いながら、歩行空間の確保に取り組んでいます。

＜南区の重点整備地区＞

- 大橋地区（西鉄大橋駅や区役所を含む直径1kmの地区）
- 高宮地区（西鉄高宮駅や障がい者スポーツセンターを含む直径1kmの地区）

Q 重点整備地区以外の歩道の維持管理・整備はどうしているの？

A 区役所による道路パトロールや市民などからの通報により、できる限り速やかに補修を実施します。

POINT →総延長約3,900キロとされる道路で区画線や照明灯の補修などやるべきことが山積する中、限られた予算（約27億円）とマンパワーの中、市民を守るため速やかに対応するためには『市民の通報や要望は補修箇所発見の重要な情報源』です！

Q 地域と行政が「一緒に考える」取り組みが必要ではないですか？

A 地域住民の方をはじめ高齢者や障がいのある方など様々な意見を伺いながら、道路整備を進めていきます。

POINT →当事者でなければ分からない視点を歩道や路側の整備に活かすべきです。高齢者や障がい者をはじめ、多くの地域住民が想いを交流させることは、相手の視点が分かり心のバリアフリーにもつながります。例えば、通学路安全対策や安全安心マップのように、障がい者、高齢者などの視点を取り入れた外出マップがあると、その地に慣れない方にとっても、外出に役立ちます。

「根上がり」の凹凸事例



令和6年度12月議会のご報告②

人と動物との調和のとれた共生社会の実現について



動物の中でも、犬と猫は人間社会において長い歴史を持つ伴侶動物です。愛情や飼育への責任感が強まる中、ヒトより弱い物言えぬ立場とされる動物の扱い方は、その都市の道徳的発展を表すものだと思います。市が掲げる「人と動物の調和がとれた共生社会」の実現に向けた取り組みについて質問いたしました。

●飼い主のいない猫について

「地域猫活動」の意義と成果など積極的な情報発信で理解促進を！また、市営住宅内での地域猫活動を頑なに拒むのではなく、柔軟な対応をすべきであると要望しました。

『地域猫活動』とは...

猫は非常に繁殖力が強く、1組のカップルから1年で50頭、3年間では総勢2000頭程になるといわれています。地域猫活動は不妊去勢手術によりこれ以上猫を増やさないこと、糞尿やえさの放置の問題を解消することで、よりよい環境を維持し、共生していくための大切な施策です。



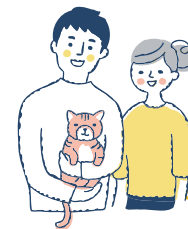
●路上で発見された犬猫の遺体の処理について

専用炉で火葬

札幌市、仙台市、さいたま市、川崎市、静岡市、浜松市、京都市、神戸市などでは、犬・猫の遺体の中にペットとして飼われていた可能性や市民の心情への配慮などの理由から**一般廃棄物とは区別し専用炉で火葬**

一般ごみ扱い

福岡市は、犬14体、猫3019体が清掃工場で「一般ごみ」と同様に焼却されています。（令和5年度現在）



亡骸の扱い方には、生命の尊厳への姿勢が表れると思います。一般廃棄物とは区別した火葬を前向きに進めるよう要望しました。もっともっと細部にまでやさしい福岡市となるよう、引き続き取り組んでいきます。

全国政令指定都市の犬猫の遺体処理方法
●専用炉で火葬
●一般ごみ扱い



ご案内

市政報告会・懇話会 開催します！

ご要望、ご質問、福岡市への要望などお聞かせください。当日は、いなとみ修二衆議院議員が来場予定です。

●2月8日（土）若久公民館

●2月9日（日）東若久公民館

※時間は10:00～11:00となります。

- ◎いずれも予約不要。当日、会場までお越しください。
- ◎お子様連れ、途中入退室も歓迎です。
- ◎車でお越しの方は、近隣駐車場をご利用ください。

小竹りか・プロフィール

〔経歴〕 筑紫女学園高等学校・福岡教育大学卒
東福岡特別支援学校、出版社、結婚・出産を経て行政書士。
2023年福岡市議選で初当選

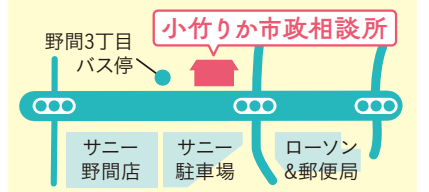
〔所属〕 経済振興委員会、少子・高齢化対策特別委員会
文化・スポーツ振興推進協議会、日韓友好福岡市議会議連盟理事

小竹りか市政相談所 お気軽にお立ち寄りください。

〒815-0041
福岡市南区野間3丁目4-1
川上ビル102号室

TEL.092-559-8155
FAX.092-559-8156

kotake.rika@gmail.com





年頭にあたり 謹んで新春のお慶びを申し上げます

福岡市は人口も増え続け、市税収入は過去最高を更新しました。その一方でエネルギーや食糧価格の高騰が止まらず、苦しい思いをしている市民も多くいます。財政が好調な今こそ、市民の生活を守る施策を積極的に展開していなくてはいいけません。今年は巳年。蛇は脱皮することから「再生の年」と言われます。福岡市の新たなスタートのために、市民クラブは歩みを止めず果敢に挑戦し続けます。本年もよろしくお願いいたします。

福岡市民クラブ

令和7年度 予算要望の実施



12月2日（月）高島市長へ「令和7年度予算要望」を手渡しました。統一地方選挙時に示した『会派基本政策2023』の4分野に集約した施策を中心に、議会活動報告会で頂いたご意見も含め新たな項目も追加した全65項目214施策を要望しています。令和7年度は新たな第10次福岡市基本計画がスタートする年です。

私たちの要望が、令和7年度予算に反映されるよう、第1回定例会の予算審議に向けてしっかりと準備を進めていきます！

①生活保障分野 17項目（55施策）

保育・教育の充実/児童虐待防止/ファミリー世帯の家計負担軽減/ワークライフバランスの推進/健康寿命延伸施策の充実/介護事業支援/地域での暮らし支援/労働環境の整備/障がい者の就労自立支援/女性活躍推進/生活困窮者支援 など



②成長分野 16項目（58施策）

福岡空港博多港の機能強化/独自観光施策の充実/世界に通じる食産業育成/地場企業の成長支援/DX社会への対応支援/農林水産業の振興/賑わいと憩いの都心づくり/都心部の交通対策/交通ネットワークの再構築 など



③地域分野 14項目（43施策）

行政と地域のパートナーシップ強化/地域の担い手づくり支援/通学路等の交通安全推進/スポーツを通じた地域振興/行政サービスの利便性向上/公共の役割の明確化/市民負担を軽減した公共施設の維持・建替/議会費の拡充/政治教育の推進 など



④共生分野 18項目（58施策）

地域防災力の強化/地球温暖化対策推進/再生可能エネルギーの普及促進/あらゆる差別の解消/ジェンダー平等・男女共同参画の推進/ペットとの共生/学びの機会の保障/教員の業務負担軽減/きめ細かな教育の実施/伝統文化振興 など



TOPICS 第10次基本計画が本年4月より開始

＞基本計画とは

2025年度からの10年間を計画期間とする、第10次福岡市基本計画が可決されました。基本計画とは、行政分野全般に係る政策の基本的な方向を定めたもので、福岡市基本構想に掲げる都市像の実現に向けた方向性を、まちづくりの目標や施策として総合的・体系的に示した長期計画です。今定例会での可決により、本年4月1日より福岡市政は新たな基本計画の元で運営されることになります。

＞策定プロセス

計画内容に市民意見を反映させるため「みんなで作る福岡市の将来計画プロジェクト」が進められ、アンケートやワークショップなどに延べ1万人の市民や有識者が参加。小中学生の約12万人が対象のアンケートも実施され、素案が作成されました。昨年はその素案を審議する福岡市総合計画審議会が11回開催され、市民、有識者、議員による議論の上、原案を作成。パブリックコメントを経て市長に答申され、議案として提案されました。

＞具体的な内容

第10次基本計画は「分野別目標」「空間構成目標」「区のまちづくりの目標」で構成されており、骨格を占める分野別目標は右の通りです。

■分野別目標

- ①一人ひとりが心豊かに暮らし、自分らしく輝いている
- ②すべての子ども・若者が夢を描きながら 健やかに成長している
- ③地域の人々がつながり、支え合い、安全・安心に暮らしている
- ④人と自然が共生し、身近に潤いと安らぎが感じられる
- ⑤磨かれた魅力に人々が集い、活力に満ちている
- ⑥都市機能が充実し、多くの人や企業から選ばれている
- ⑦チャレンジ精神と新たな価値の創造により、地域経済が活性化している
- ⑧アジアのモデル都市として世界とつながり、国際的な存在感がある

第10次基本計画では、分野別目標で「市民意識」を測ることににより、目標全体の進捗に対する市民の実感を大切にすることが最大の特徴となっています。この市民意識調査は毎年行われ、その推移を把握、分析しながら、必要な施策を講じていくことになります。

各施策・事業における客観的なデータ等については政策推進プランに位置付け、社会の変化にも柔軟に対応しながら、基本計画と政策推進プランを一体的に推進していくことになります。



令和6年 第5回 福岡市議会(12月定例会) 開催



第5回定例会(12月11日～12月19日)が招集され、令和6年度一般会計補正予算案、条例案など全72議案について審議しました。

悲劇を繰り返さない！福岡市盛土規制条例

議案質疑 [12月11日]

田中たかし（西区）



熱海市の違法盛土による土石流事故を受けて、令和5年5月にいわゆる「盛土規制法」が施行されました。本法律は盛土許可の対象規模の強化などを自治体が独自に条例で制定することを可能としているため、今定例会で新たな盛土規制の条例が提案されたものです。質疑では、**許可が必要となる対象盛土が面積3,000㎡以上から1,000㎡以上に強化される他、事業者は安全対策や防災措置の状況を定期的に報告することなどが義務化**されるなど、市民の安全に寄与できる条例であることを確認。一方で、3,000㎡以上の盛土だけでも720haに及ぶことから(1,000㎡以上の調査は今後)、本市の事務作業の増加や調査人員の不足などの懸念があることを指摘。土木行政の体制強化を要望するとともに、**条例の効果的運用には国や県、地域との協力体制が不可欠**ことから連携強化を求めました。

「殺処分ゼロ」へ！命の尊厳を守る福岡市へ

一般質問 [12月13日]

小竹りか（南区）



本市は犬猫の実質的殺処分数はゼロとしていますが、東部動物愛護管理センター（以下「センター」）では、負傷や感染症罹患、攻撃性等の理由で令和5年度は132頭殺処分しています。治療等の可否は行政獣医師であるセンター職員が判断しているものの、**臨床実績のある民間動物病院の獣医師の助言と治療の協力があれば殺処分は減らせる**と指摘。当局も獣医師会や動物関係団体との連携強化が課題と認めました。また、**犬猫が路上で亡くなると、清掃工場で一般廃棄物として焼却されるため、命の尊厳の観点から一般廃棄物とは区別すべき**と質しましたが、前向きな答弁は得られませんでした。他にも動物関係団体への費用面等の支援も要望。また、老朽化した**センターの早期リニューアルも求めたところ、設置場所、役割や機能、建替え時期等を検討すると明言**しました。

安心して学び、暮らし続けたい思いに応えて...

一般質問 [12月16日]

池田良子（西区）



アレルギーだけでなく、てんかん発作や低血糖などの持病を抱えた子どもが増えています。しかし、学校での発作を抑える医薬品などの管理や預かりについてのマニュアルがなく、養護教諭に任されている現状があることから、**医薬品の管理マニュアルの作成を求め、教育長はマニュアルを作成**することを明らかにしました。補装具が必要な難病児の通常学校における学習保障として、**学校備品としての補装具の整備と、宿泊を伴う校外活動において、訪問看護師によるレスパイト事業の継続**を求めました。パートナーシップ宣誓制度で宣誓したカップルが11月に**207組**となりました。大村市など11自治体では、住民票の続柄を男女の事実婚と同様に**「夫(末届)」「妻(末届)」と記載した住民票の交付**を始めました。福岡市でも希望者には実態に近い記載をすべきと質しました。

「油山」をさらに磨き、貴重な観光資源に！

一般質問 [12月12日]

井上まい（城南区）



今回は、これまで頂いてきた地元要望を元に**油山に関連する課題を総合的に質問**しました。一つは昨年、油山牧場と合わせてリニューアルされた**油山市民の森**について。牧場は来場者が倍増している一方、市民の森は、昆虫や野鳥、植物を観察しながら学べる自然観察センターや、無料で遊べる遊具なども設置されていますが、老朽化が進み、来場者も伸びず閑散としています。市民の森についてのPRに力を入れるとともに、牧場と市民の森の間を循環するワゴン車の無料化や、自転車の貸し出しなど両施設間の回遊性を高める提案をしました。他にも、**片江展望台の設備更新や安全対策、周辺のイノシシなど有害鳥獣対策、油山観光道路の渋滞対策など**、様々な視点から油山の課題について取り上げながら、**油山のポテンシャルを活かした総合的な施策の推進**を求めました。

未来ある子ども達の体力の向上を求めて！

一般質問 [12月13日]

ついちらは陽子（東区）



「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」によれば、コロナ以降、子どもの体力は低下傾向にあり、本年は若干の回復基調にあるものの以前ほど戻っていないことが明らかになりました。文科省は**「運動をするための体力」と「健康に生活するための体力」と**、「体力」を二つに分類しており、成長過程における重要な要素と示しています。この2つの視点から当局に質問。「運動」については習熟度に合わせ、体を動かす楽しさや魅力ある体育の授業に取り組む、「健康」は、各個人の体力や健康等のデータを活用し、運動や自身の健康への興味・関心を高めるように努めるとの答弁を得ました。**ゴールデンエイジ(9歳～12歳)に運動を継続することが重要と指摘の上、運動に興味がない子どもへのきっかけづくりや、授業以外でも体を動かす機会を増やすことを求めました。**



「オスプレイ飛来に関する意見書」賛成討論

[12月19日]

落石俊則（東区）



11月14日、日米韓共同訓練関係者を乗せた米軍オスプレイ4機が突如、福岡空港に飛来しました。突然の大きな音に恐怖を感じたり、1950年代の悲惨な事故を思い出したりした市民もおられます。構造的に問題があるオスプレイの飛来は、市民に恐怖をもたらし、ひいては命と暮らしを脅かします。**政府は、民間空港への飛来を拒否するようアメリカ政府に対し申し入れすべきであり、万が一着陸するような事態があれば、事前に地元自治体へ情報提供を行うべきと**討論しました。

意見書案の内容	結果	立案者
教育予算の拡充を求める意見書	可決	市民ク
「103万円の壁」見直しにあたり地方税財源に影響を及ぼさないよう求める意見書	可決	共産党
福岡空港への米軍のオスプレイ飛来に関する意見書	否決	共産党